

メタル縮退を踏まえた電柱等・土木設備に係る費用配賦の在り方について

第76回会合を踏まえたNTT東日本・NTT西日本への追加質問事項に対する回答

2026年1月21日

構成員質問回答 メタル縮退を踏まえた電柱等・土木設備に係る費用配賦の在り方について

構成員追加質問

NTT東西が提供していた過去のサービスにおいて、サービスの廃止に伴い不要となった設備の状況と会計処理上の取扱い(有姿除却、減損処理等)について、いくつかの事例を挙げてご説明願いたい。また、撤去が必要となった事例について、撤去費用等の負担についてどのような取扱いを行ったのかについても併せてご説明願いたい。
(関口構成員)

当社の考え

- 電気通信設備においては、その多くが複数サービスで共用されていることから、特定のサービスの廃止に起因して直ちに固定資産価額の見直し等の会計処理を行うケースは限定的ですが、特定のサービスに専用的に使用されている装置等について、サービス廃止時点において固定資産価額に金額的な重要性が認められる場合※には、対象設備の固定資産価額や残存耐用年数の妥当性等を検証した上で、監査法人から適正性についての監査・了承を得て、適宜適切に財務会計上の処理を実施しています。

※ サービス廃止を決定するサービスにおいては、専用的に使用されている装置は減価償却が進み、正味固定資産価額が僅少となっていることが多く、金額的重要性が高いとされないことが大宗。

- 特殊な会計処理を行ったものの具体例は以下の通りです。

- ✓ フレッツ・光プレミアムのサービス廃止を踏まえた専用設備の加速償却

フレッツ・光プレミアムについては、2015年度に2019年1月末にサービス終了する旨の意思決定を行いました。

それを踏まえ、サービス廃止時期が明確になったこと及び金額的重要性等を踏まえ、監査法人の監査・了承を得て、残存耐用年数が実際の使用可能予測期間を上回るものに対して加速償却を実施しています。

また、当該サービスの廃止に伴い発生する撤去費用については、第一種指定電気通信設備接続料規則第3条に基づく許可申請により、後継機能である「一般収容局ルータ接続ルーティング伝送機能」(NGN)に係る接続料原価に含めて接続料を設定しました。